新シリーズ

職員の趣味紹介

「ラジオ深夜便」を聞いて

保養会 理事長　堀内　英夫

最近、NHKのラジオ深夜便を楽しんでいます。以前の職場でご一緒した同僚の教授に元NHKアナウンサーの高梨敬一郎さんがいました。高梨さんは関西発のラジオ深夜便を担当されていたこともあり、私がこの番組を楽しむきっかけになりました。

この番組の多様なコーナーの中で、本の紹介、インタビューコーナー等があります。インタビューされている人の生活・人生等を紹介した興味深い本が紹介されることがあります。

所沢を生活拠点にしている私にとって、書店が限られているため、この番組の本の紹介は、本探しに役立っています。

飲み仲間との間でも、この番組とそこで紹介された本談議の機会が多くなっています。特に、この1年は戦後70年に関連した番組と本の紹介がありました。(例えば、番組名「昭和史を味わう」:保坂正康著“昭和史”、“戦争は人類の大犯罪”)(番組名「戦争・平和インタビュー」:むのたけじ著“100歳のジャーナリストから君へ「学ぶ」”等々)

この番組を聞きながら、ネットで注文すると2・3日で配達されてきます。書店で探す楽しみはありませんが、これも現代流かな…と利用しています。

私の趣味

保養会　副本部長／常務理事　岸岡　靖二

1　ゴルフ

かれこれ40年間ゴルフをやっています。青空のもと芝生の上を歩くのは、最高のストレス解消になります。若いころは炎天下や雪がちらつく日もなんのその。さすがに、最近はそういう日は自重しております。

長い日々の中で多くの異業種の人たちと付き合うことができました。元最高裁判事や現職の東京地裁の判事さんたち、電機メーカーやNTTの技術者、青果市場の競り人、幼稚園の経営者や開業医等から多くの面白い話を聞くことができました。

この原稿を書いているときに、大村智博士がノーベル医学・生理学賞を受賞することが決まり、何とゴルフ場で採取した微生物由来の特効薬で何億人もの人々の命を救ったとのことでした。早速我が家では、「大村博士はゴルフやりながらノーベル賞受賞なのに、うちのお父さんはただプレーするだけ。たまにはゴルフ場の土でも持って帰りなさいよ。」と口撃？にさらされています。どの様に対処したものでしょうか。

2　サックス

保養会就職前3年弱の間、年金生活を送っていましたが、ふとしたことがきっかけでサックスを始めました。娘と同世代の先生（美人です！）につき、早くも7年目に入りました。もともと音楽とは無縁の人間であったため、牛のような歩みを続けております。

年間3～4回音楽教室主催のミニコンサートでつたない演奏を披露しています。